

第69回東海高等学校総合体育大会水泳競技 兼第55回東海高等学校選手権水泳競技 兼第90回日本高等学校選手権水泳競技大会東海地区予選会

要 項

1. 主 催 (公財) 日本水泳連盟、東海高等学校体育連盟
静岡・岐阜・三重・愛知 各県教育委員会
(一社) 東海水泳連盟
2. 後 援 (公財) 愛知県スポーツ協会
3. 主 管 愛知県高等学校体育連盟
愛知県高等学校体育連盟水泳専門部
(一社) 愛知水泳連盟
4. 協 賛 官公学生服株式会社
5. 期 日 【競泳】 令和4年7月22日(金)・23日(土)・24日(日)
【飛込】 令和4年7月24日(日)
【水球】 令和4年7月23日(土)・24日(日)
6. 場 所 【競泳・飛込】
日本ガイシアリーナ
名古屋市南区東又エ町5丁目1番地の5 電話 052 - 614 - 6211
【水球】
三重交通G スポーツの杜 鈴鹿水泳場
三重県鈴鹿市御薊町1669 電話 0593-72-2250
7. 競技方法 (公財) 日本水泳連盟競技規則による。
競泳・飛込 男女別学校対抗
水 球 予選トーナメント、決勝リーグ戦方式

8. 種 目

(1) 競 泳

種 目	男 子	女 子
自 由 形	50m 100m 200m 400m 1500m	50m 100m 200m 400m 800m
背 泳 ぎ	100m 200m	100m 200m
平 泳 ぎ	100m 200m	100m 200m
バタフライ	100m 200m	100m 200m
個人メドレー	200m 400m	200m 400m
フリーリレー	4×100m 4×200m	4×100m 4×200m
メドレーリレー	4×100m	4×100m

(注1) 予選はタイムレースとし、決勝は各10名(10チーム)で行い、2名(チーム)の補欠をとる。

(注2) 決勝進出において、同記録で定員より増加した場合は、スイムオフを行うため、ただちにリゾリレーションデスクに集合すること。

但し、自由形800m・1500m・4×200mフリーリレーは抽選とする。リレーのスイムオフは予選競技と同じメンバーが同じ泳順で泳ぐこと。

(注3) スイムオフでの標準記録突破は認められない。

(注4) 競技は予選原則8レーン、決勝10レーンとする。

(2) 飛 込

【男子】

① 飛板飛込(3m) 11種目

制限選択飛5種目(各群より、難易率合計9.5以内)

自由選択飛6種目(各群より、ただし、この内1種目はいずれの群より選択してもよい。)

○ 競技方法

決 勝 11種目 制限選択飛5種目、自由選択飛6種目

② 高飛込10種目

制限選択飛4種目(異群より、難易率合計7.6以内)

自由選択飛6種目(各群より)

○ 競技方法

決 勝 10種目 制限選択飛4種目、自由選択飛6種目

(注) すべての決勝における順位は決勝の得点合計による。

【女子】

① 飛板飛込(3m) 10種目

制限選択飛5種目(各群より、難易率合計9.5以内)

自由選択飛5種目(各群より)

○ 競技方法

決 勝 10種目 制限選択飛5種目、自由選択飛5種目

② 高 飛 込 9種目

制限選択飛4種目（異群より、難易率合計7.6以内）

自由選択飛5種目（各群より）

○ 競技方法

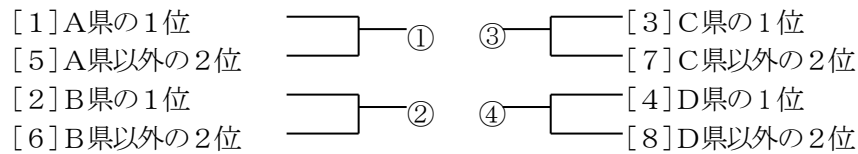
決 勝 9種目 制限選択飛4種目、自由選択飛5種目

（注）すべての決勝における順位は決勝の得点合計による。

(3) 水 球

○ 抽選方法

（予選トーナメント）



（決勝リーグ）

- ⑤ ①の勝者 対 ②の勝者
- ⑥ ③の勝者 対 ④の勝者
- ⑦ ①の勝者 対 ④の勝者
- ⑧ ②の勝者 対 ③の勝者
- ⑨ ①の勝者 対 ③の勝者
- ⑩ ②の勝者 対 ④の勝者

1. [1]～[4]までを各県1チームにて抽選を行う。
2. [5]～[8]は、1の結果をみて同一県チームが同一ブロックとならないよう配慮して抽選を行う。
3. 前年度実績によるシードは行わない。
4. 敗者戦を設定する。（リーグ戦における連続出場を避けるため）
5. 競技日程

第1日		第2日	
①	} 予選トーナメント	⑦	決勝リーグ
②		⑧	〃
③		敗者戦 ①対②	
④		敗者戦 ③対④	
⑤	決勝リーグ	⑨	決勝リーグ
⑥	〃	⑩	〃

※ 競技時間は、全国高校総体に準ずる。

備 考

- (1) 参加チームが6チームないし7チームの場合は、いずれかの県の1位チームは、抽選により予選トーナメントは不戦勝とする。
- (2) 参加チームが5チーム以下の場合は、総当りリーグ戦とする。

9. 申込規定

(1) 資格

- ① (公財) 日本水泳連盟登録選手に限る。
- ② 各県高等学校体育連盟に加入している高等学校生徒で平成15年(2003年)4月2日以降に生まれた全日制および定時制、通信制課程の生徒に限る。但し、休学中・留学中の生徒は除く。
なお、第1学年を除き、在学1年未満の者、同一年で一度出場したものは申し込むことができない。出場は同一競技3回まで。第1学年でも学年の途中で編入した者は申し込めない。但し、一家転住等やむを得ない場合は、所属高等学校体育連盟会長の認可があれば、この限りでない。
- ③ 同一学校でも全日制、定時制、通信制は別の学校として申し込む。
- ④ 地方予選会(県大会)の成績で、各種目8位までの入賞者、および、9位以下であっても日本高等学校選手権大会の標準記録を突破した選手は、主催団体の推薦を経てその種目に出場できる。ただし、決勝における正当な理由のない棄権者の参加は認めない。

なお、男子1500m自由形・女子800m自由形については8位までの入賞者、および下記の標準記録を突破しなければ出場できない。

標準記録 1500m自由形 19:30.00 800m自由形 10:30.00

- ア フリーリレーは個人種目出場者を含め6名(補員2名まで)を申し込むことができる。
イ メドレーリレーは個人種目出場者を含め8名(補員4名まで)を申し込むことができる。
ウ リレー種目において、競技の際は個人種目または他のリレー種目に出場する者に交代させることができる。(全国総体については、この限りではない)
エ ランキング表及びプログラムの組合せは、県大会における、予選、決勝の良い方のタイムで作成する。
- ⑤ 飛込は各県水泳連盟の推薦を経て申し込む。
 - ⑥ 水球は各県から2チームまで各県水泳連盟の承認を経て申し込む。
 - ⑦ 上記条件を満たした者で、学校長が出場を認めた者。

(2) 制限

- ① 競泳・飛込は1校1種目3名以内、1人2種目以内。(ただし、リレー種目を除く)
- ② 水球は1チーム監督1名、選手13名とする。

(3) 申込方法(各様式は愛知県高体連ホームページにデータ・リンク先があります。)

<https://aichikenkoutairen.jp>

様式① 「競技種目別参加選手一覧表」 各県別に男女各2通

様式② 「学校長出場認知書・学校別出場種目一覧」

学校別・男女別・種別(競泳・水球・飛込)に各1通

様式③ 「宿泊申込書」(各学校で申込書をFAXで名鉄観光に送信。)

FAX 052-221-9778

様式④ 「県別・種目別参加選手数一覧」 各県に1通

様式⑤ 「県別 参加料・プログラム代金納入一覧表」 各県に1通

(注1) 様式①・④・⑤は各県専門部が作成し開催県に提出する。

(注2) 様式②・③は参加校が作成し、②は各県水泳専門部へ提出。③は申し込み方法に従い申し込む。

(注3) 様式①・②はこれとは別に各々1通ずつを日本水泳連盟へ各県まとめて送付のこと。

(様式②については水球・飛込のみ)

(注4) 様式②については男子用・女子用を使用する。

(注5) 飛込競技種目申込手續について

飛込競技参加者は「飛込演技種目申込用紙」を自分が行おうとする飛込の群・番号・名称及び型・飛板または台の高さ、難易率を記入して、当該競技の前日12時00分から15時00分までの間に飛込プールサイドの“種目申込用紙受付箱”に投函すること。

(4) 参加料

参加者1人につき2,000円を申込みと同時に納入のこと。水球は1チーム20,000円。
(各県高体連で一括して納入)

(5) 申込期限と場所

令和4年7月1日(金) 午前10時(各県高体連委員長が一括して申込み)
日本ガイシアリーナ 会議室

10. 選手権校の決定

(1) 競 泳

各種目1位8点、2位7点……8位1点とし、リレー種目は、1位16点、2位14点……8位が2点とする。同着の場合は、次の順位を欠位とし、得点は欠位のものを加え等分した得点をそれぞれに与える。得点の最も多い学校を優勝校とし、総合得点と同じ場合は次の順に従って決定する。

- ① リレー種目による得点の多い学校
- ② 入賞者の多い学校(但し、リレー種目は4と計算する)
- ③ 1位の数
- ④ 2位の数(以上8位までこれにならう)

(2) 飛 込

各種目1位8点、2位7点……8位1点とし、得点の最も多い学校を優勝校とする。総合得点と同じ場合は次の順に従って決定する。

- ① 入賞者の多い学校
- ② 1位の数
- ③ 2位の数(以上8位までこれにならう)
- ④ 当該入賞者の評点の平均点が多い者(評点の平均値は小数第2位まで算出する。但し、小数第3位は四捨五入とする)
- ⑤ 当該入賞者の評点の中で最も高い数値を得た者

(3) 水 球

優勝校(但し、リーグ戦で勝ち点と同じ場合は監督会議で決定された方法による)

11. 表 彰

- (1) 優勝校に優勝旗と賞状、3位まで賞状を与える。
- (2) 種目別優勝者に賞品と賞状、3位まで賞状を与える。

12. 宿 泊

別記要項による。

1 3. 日本高等学校選手権水泳競技大会への参加資格

本大会における以下の成績の者またはチームは、高体連および加盟団体の推薦を得て全国大会に出場ができる。なお、全国大会への申込は、東海高校総体に申込をした者に限る。

(1) 競 泳

- ① 各決勝種目3位までの入賞者、またはチーム。
- ② 予選、決勝を問わず全国大会標準記録を突破した選手、またはチーム。同タイムも含む。
(リレー競技の第1泳者および1500m自由形の800mにおける正式時間は含まない。)

【①、②の確認事項】

注1 都府県大会の記録で出場は認められない。

注2 決勝における正当な理由のない棄権者の参加は認めない。

注3 フリーリレー、メドレーリレーは、東海高校総体において予選・決勝・予選と決勝で出場資格を得たメンバーの中から4名と、別に補欠1名を申し込むことができる。ただし、競技の際は個人種目に出場する者と交代させることができる。

注4 全国大会のエントリータイムは、予選、決勝のうち速いタイムとする。

③ 各都府県特別措置

地域大会において全国大会の出場資格を得なかった各都府県は、最低男女各1名を1種目のみ、出場資格者として高体連および加盟団体で推薦することができる。

また、出場資格は男女にまたがっていない場合は、欠けている方について1名1種目の推薦を認める。

注1. 推薦は、自由形・背泳ぎ・平泳ぎ・バタフライの100m・200mおよび200m個人メドレー、50m自由形の種目で、地域大会において全国標準記録に最も近い記録をマークした者とする。

注2. 悪天候(雷・豪雨・暴風)や不測の事態によりレースを中断する場合がある。また、レース時間の繰上げやタイムレース決勝にする場合もある。レースを中止した場合は、各県総体予選の結果をもとに全国大会出場を認める。

○ 標準記録

種 目		男 子	女 子
自 由 形	50m	24.49	27.15
〃	100m	52.45	58.81
〃	200m	1:54.51	2:06.83
〃	400m	4:03.47	4:26.41
〃	800m	—————	9:11.13
〃	1500m	16:16.25	—————
背 泳 ぎ	100m	59.03	1:05.08
〃	200m	2:08.74	2:19.56
平 泳 ぎ	100m	1:04.42	1:12.84
〃	200m	2:19.22	2:35.71
バ タ フ ラ イ	100m	56.03	1:02.68
〃	200m	2:04.05	2:18.19
個 人 メ ド レ ー	200m	2:08.20	2:22.63
〃	400m	4:33.44	5:03.14
フ リ ー リ レ ー	400m	3:36.31	4:02.26
〃	800m	7:52.81	8:45.98
メ ド レ ー リ レ ー	400m	3:56.68	4:26.16

- (2) 飛 込
各種目、男女とも下記標準点数を突破した者（同点も可）

標準得点

○ 飛板飛込		標準点数
男子	3m飛板飛込（11種目）	323.00
女子	3m飛板飛込（10種目）	285.00
○ 高飛込		標準点数
男子	高飛込（10種目）	288.00
女子	高飛込（9種目）	260.00

- (3) 水 球
優勝校及び2位のチーム

- (4) 全国大会特別出場措置を適用する場合は各県委員長に申し出る。

14. 開 会 式

- (1) 日 時 競泳 令和4年7月23日（土）午前9時30分
水球 令和4年7月23日（土）午前9時
飛込 令和4年7月24日（日）午前8時45分

- (2) 場 所 競泳・飛込 日本ガイシアリーナ
水球 三重県 三重交通 G スポーツの杜 鈴鹿 水泳場

- (3) 参加者 各県選手団（スタンドで起立して参加すること）
（水球はプールサイドに整列して参加すること）

15. 監督者会議

- (1) 日 時 競泳 令和4年7月22日（金）10時30分
飛込 令和4年7月23日（土）15時00分
水球 令和4年7月22日（金）16時00分

- (2) 場 所 競泳 日本ガイシアリーナ 会議室
飛込 日本ガイシアリーナ 小会議室
水球 三重県 三重交通 G スポーツの杜 鈴鹿 水泳場 （役員室）

16. 大会期間中の本部

- 競泳・飛込 日本ガイシアリーナ
水球 三重県 三重交通 G スポーツの杜 鈴鹿 水泳場
その他 各県水泳専門委員長へ連絡する。

17. 競技順序

第1日 監督者会議 10:30
 競技開始 12:00

1 女子 4×100m メドレーリレー 予選
 2 男子 4×100m メドレーリレー 予選
 3 女子 800m 自由形 予選
 4 女子 50m 自由形 予選
 5 男子 50m 自由形 予選
 6 男子 1500m 自由形 予選
 7 女子 4×100m メドレーリレー 決勝
 8 男子 4×100m メドレーリレー 決勝

第2日 開会式 9:30
 競技開始 10:00

9 女子 4×100m フリーリレー 予選
 10 男子 4×100m フリーリレー 予選
 11 女子 200m バタフライ 予選
 12 男子 200m バタフライ 予選
 13 女子 200m 背泳ぎ 予選
 14 男子 200m 背泳ぎ 予選
 15 女子 400m 個人メドレー 予選
 16 男子 400m 個人メドレー 予選
 17 女子 200m 自由形 予選
 18 男子 200m 自由形 予選
 19 女子 200m 平泳ぎ 予選
 20 男子 200m 平泳ぎ 予選
 21 女子 50m 自由形 決勝
 22 男子 50m 自由形 決勝
 23 女子 800m 自由形 決勝
 24 男子 1500m 自由形 決勝
 25 女子 200m バタフライ 決勝
 26 男子 200m バタフライ 決勝
 27 女子 200m 背泳ぎ 決勝
 28 男子 200m 背泳ぎ 決勝
 29 女子 200m 自由形 決勝
 30 男子 200m 自由形 決勝
 31 女子 400m 個人メドレー 決勝
 32 男子 400m 個人メドレー 決勝
 33 女子 200m 平泳ぎ 決勝
 34 男子 200m 平泳ぎ 決勝

35 女子 4×100m フリーリレー 決勝
 36 男子 4×100m フリーリレー 決勝

第3日 競技開始 9:30

37 女子 4×200m フリーリレー 予選
 38 男子 4×200m フリーリレー 予選
 39 女子 100m 平泳ぎ 予選
 40 男子 100m 平泳ぎ 予選
 41 女子 100m バタフライ 予選
 42 男子 100m バタフライ 予選
 43 女子 100m 自由形 予選
 44 男子 100m 自由形 予選
 45 女子 400m 自由形 予選
 46 男子 400m 自由形 予選
 47 女子 200m 個人メドレー 予選
 48 男子 200m 個人メドレー 予選
 49 女子 100m 背泳ぎ 予選
 50 男子 100m 背泳ぎ 予選
 51 女子 100m 平泳ぎ 決勝
 52 男子 100m 平泳ぎ 決勝
 53 女子 100m バタフライ 決勝
 54 男子 100m バタフライ 決勝
 55 女子 100m 自由形 決勝
 56 男子 100m 自由形 決勝
 57 女子 400m 自由形 決勝
 58 男子 400m 自由形 決勝
 59 女子 200m 個人メドレー 決勝
 60 男子 200m 個人メドレー 決勝
 61 女子 100m 背泳ぎ 決勝
 62 男子 100m 背泳ぎ 決勝
 63 女子 4×200m フリーリレー 決勝
 64 男子 4×200m フリーリレー 決勝

閉会式

(飛込)

男子・女子 高飛込 10:00
 男子・女子 飛板飛込 13:00

17. 申込記入上の注意事項

- (1) 楷書で記入し、押印する。
- (2) 様式②のプログラムに記載する学校名略字は下記の注意事項にならって記入する。
 - 注1. 学校名は6文字以内に略して記入する。
(例) 愛知産業大学三河高校 → 愛産大三河
愛知みずほ大学瑞穂高校 → 愛み大瑞穂
 - 注2. 学校名に地名がついている場合は、地名を略さないこと。
(例) 浜北 → 浜松北 四高 → 四日市
 - 注3. 高等学校の「高」の字は記入しない。
(例) 関高 → 関 神戸高 → 神戸
 - 注4. 大学付属の学校は「大」を略さない事。
(例) 帝京可児 → 帝京大可児
- (3) 様式②の登録団体CDは、従来からの加盟団体番号の2桁と登録団体番号の3桁をつないだ5桁の番号を記入する。

18. 救急処置・貴重品管理

大会当日、競技中に選手が負傷した場合は、主催者側が応急の処置はするが、その後の責任は負わない。貴重品の管理は各学校で行う事。更衣室のロッカーの占有使用はできません。

19. その他

- (1) 大会期間中の競泳会場の開門は7月22日(金)9時00分、7月23日(土)、24日(日)7時30分とする。(飛込・水球競技・練習プール・控え室利用時間については後日連絡する)
- (2) プログラムは監督へ1部と選手用として1部無料配布をする。それ以上必要な場合は、1部1,000円とする。参加申込と同時に別紙により必要部数と現金を添えて申し込むこと。
- (3) 令和3年度優勝校は、必ず優勝旗を持参すること。
(本年度不参加の場合は、その該当する県で責任を持って返還すること)
- (4) 部旗は各校1枚とし、縦140cm、横210cm程度とする。掲示場所は後日各県委員長を通じて連絡をする。
- (5) 各県・各学校の控え場所は指定とする(各県委員長の指示)。早朝からの並び、指定場所以外の場所取りはできません。ゴミ処理については、持ち帰りを原則とする。
- (6) 会場へのアクセスは各会場ホームページを参照のこと。
- (7) 社会情勢により、出場制限・競技運営・大会運営を変更する場合がある。